

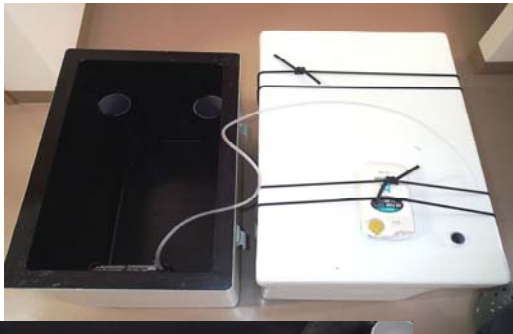


平成30年6月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

## キンメダイの活魚輸送試験を実施

→  
簡易活魚輸送水槽

外形  
60×40  
×高さ  
60cm



←水槽に収容されたキンメダイ

現在、当場ではキンメダイの蓄養技術を開発しています。今回は、捕獲したキンメダイを傷つけることなく、かつ、簡単に運ぶための輸送試験を行いました。そのために、小型の簡易活魚輸送水槽（以下、輸送水槽）を開発し、船上で魚を収容し、蓄養施設まで魚を手で触らない輸送試験に取り組みました。

試験日の5月26日は、伊豆漁協稲取支所所属の「稲荷丸」に協力していただき、3回の操業で計20尾のキンメダイを捕獲し、6尾は輸送水槽に、14尾は船の魚槽に収容しました。輸送水槽はそのままトラックに積み込み、船の魚槽の魚はトラックの水槽に移し、伊東市赤沢のいとう漁協蓄養施設まで運びました。今後も引き続き輸送試験を実施する予定です。

## テングサ作柄予察発表

テングサ作柄調査の結果がまとまりました。今年のテングサの作柄は、下田から南伊豆地区では前年並～減、松崎から土肥地区では減、県全体としては減と予察されました。今回は3月中旬から4月中旬に白浜から八木沢にかけての13地区32地点で調査しましたが、全域でテングサ以外の雑藻（カジメ、ホンダワラ類等）が目立つ漁場が多く見られました。



↑近年、このような優良漁場が減少しています。

**6月の予定** ●マダイの中間育成が熱海市網代、西伊豆町田子で始まります。 ●アワビ類の加入量調査を実施します。 ●西伊豆地域でガンガゼ駆除の藻場への影響調査を行います。 ●キンメダイの資源管理説明会を開催します。

## 稲取水産祭り賑わう

平成30年5月3日に伊豆漁協稲取支所で「第38回水産祭」が開催されました。稲取キンメをはじめ定置網のサバやスルメイカなど地元水産物が格安で販売される恒例イベントで、開場時刻は午前8時30分でしたが、午前7時前から長蛇の列ができていました。イベント中、活きたキンメダイの水槽展示も予定されていましたが、当日の朝は荒天によりキンメダイを獲りに行けなかったため、展示は行われませんでした。



**6月16日(土)に伊豆漁協魚市場で『水産祭り』が開催されます。**